



## NHK 詳細分析

2026-05-04\_radio\_news\_0600

放送: 2026-05-04 | 分析日: 2026-05-13 14:23

Version 2.8-detail | Universal 2.8-detail | Konverter 3.4 (2026-05-20) | 基準: 放送法 第4条

総合スコア

3.9/10

軽微な不均衡

0 = 均衡、10 = 著しく偏向/操作的

## 政治スペクトラム

チャペルヒル専門家調査 (CHES) 2024に基づく分類

チャペルヒル専門家調査 (CHES 2024) は、31か国609人の政治学者による 学術調査です。各政党は0 (極左) から 10 (極右) のスケールで評価されます。

政党	JCP	CDP	DPP	Komeito	LDP	JIP
CHES	1.50	3.50	4.80	5.20	7.00	7.80
スペクトラム	左派	左派	中道	中道	右派	右派

全体的な傾向は0-10スケールで表示されます (0 = 強い左派優遇、5 = バランス、10 = 強い右派優遇)。計算は左派・右派政党の平均優遇度の差に基づきます (CHES 2024によるグループ分け)。

傾向 (左 - 右)

5.0 / 10

均衡

0

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

← 左

右 →

出典: Chapel Hill Expert Survey 2024 — [chesdata.eu](https://chesdata.eu) | [Jolly et al., Electoral Studies, 2022](https://doi.org/10.1017/XES.2022.1) | 関値: [Pew Research Center](https://www.pewresearch.org/)

このセクションは政治的文脈を提供し、総合スコアには含まれません。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: [kontakt@SVFAB.ch](mailto:kontakt@SVFAB.ch)

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



## 政治的景観

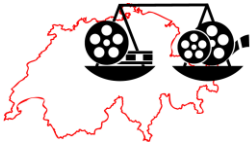
現在の政権は自由民主党（LDP）と公明党（Komeito）による連立政権である。2024年10月27日の衆院選でLDPは191議席（大幅減）、公明党は24議席を獲得し、過半数を割り込んだ。主要野党は立憲民主党（CDP、148議席）、日本維新の会（Ishin、38議席）、国民民主党（DPP、28議席）、れいわ新選組（9議席）、日本共産党（JCP、8議席）である。本トランスクリプトには「高市総理大臣」との言及があり、高市早苗が首相を務めていることが示唆される。

政党	L-Rスコア	議席数	政権/野党	主要政策
日本共産党（JCP）	1.5	8	野党	憲法9条堅持、即時原発廃止、反軍拡
社民党（SDP）	2.5	1	野党	平和主義、脱原発、福祉重視
れいわ新選組	2.5	9	野党	消費税廃止、反軍拡、左派ポピュリズム
立憲民主党（CDP）	3.5	148	野党	憲法改正反対、再生可能エネルギー、夫婦別姓
公明党（Komeito）	5.0	24	連立与党	平和志向、社会保障、緩やかな改憲
国民民主党（DPP）	5.5	28	中間	消費税減税、実用的エネルギー政策
自由民主党（LDP）	7.0	191	与党	憲法改正、防衛費増額、原発再稼働
日本維新の会（Ishin）	7.0	38	野党	規制緩和、行政改革、改憲
参政党	9.0	3	野党	超国家主義、右派ポピュリズム

日本の主要な政治的対立軸は、憲法改正（特に第9条）をめぐる与野党の対立、防衛費のGDP比2%への増額方針に対する賛否、エネルギー政策における原発再稼働推進派と脱原発派の対立、そして経済安全保障をめぐる対中政策の温

**회장:** 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - **연락처:** [kontakt@SVFAB.ch](mailto:kontakt@SVFAB.ch)

**주소:** SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



**Schweizerischer Verein für ausgewogene Berichterstattung**  
**Association suisse pour une information équilibrée**  
**Associazione svizzera per un reporting equilibrato**

度差である。2024年衆院選でLDPが過半数を割り込んだことで、政権運営は不安定化しており、DPPなど中間政党の動向が政策決定に大きな影響を与えている。

NHKは放送法第4条に基づき、政治的公平性、報道の正確性、多角的な論点提示が義務付けられている。しかし経営委員会の委員は首相が任命する構造であり、安倍政権以降「政権に近いNHK」との批判が継続している。RSF報道自由度ランキングでは日本は2024年に70位であり、記者クラブ制度が情報アクセスの構造的偏りを生んでいる。

- ・ タイトル： NHKラジオニュース（朝のニュースまとめ）
- ・ 日付（ファイル名より）： 特定不可（トランスクリプト内の気象情報・スポーツ情報から推定：5月上旬頃、年度不明）
- ・ 長さ（推定）： 約12分30秒（00:00:01～00:12:49）
- ・ 司会者/アナウンサー： 特定名称なし（ラジオセンター担当アナウンサー）、気象情報：吉井明子（気象予報士）
- ・ インタビュー対象者： 片山大臣（議長国会見）、茂木外務大臣（ケニア訪問）、自民党小林政務調査会長（インド訪問）

人物	役職	政党/所属	政治的スペクトル
高市総理大臣	内閣総理大臣	LDP	右派（LDP内強硬派）
茂木外務大臣	外務大臣	LDP	右派
小林政務調査会長	自民党政務調査会長	LDP	右派
片山大臣	財務大臣（議長国）	LDP	右派
アルバニージ首相	オーストラリア首相	豪労働党	中道左派
吉井明子	気象予報士	NHK	非政治的

高市首相のオーストラリア訪問を中心とした日本の外交・経済安全保障政策の展開、および国際・社会・スポーツの朝のニュースまとめ。

本放送は、日本政府が推進する「自由で開かれたインド太平洋（FOIP）」戦略の具体的展開を報じており、対中国を念頭に置いたサプライチェーン強化・エネルギー安全保障・同志国連携という政策フレームが前提として設定されている。イラン・ウクライナ情勢も取り上げられているが、いずれも短い言及にとどまる。朝のニュースまとめという形式上、各トピックの深掘りは限定的であり、政府の公式発表を中心とした情報提供が主体となっている。

- ・ \* 日豪首脳会談における「中国への経済的威圧」言及に対する中国側の立場・反論
- ・ \* 「自由で開かれたインド太平洋」戦略に対する批判的・懐疑的な学術的見解
- ・ \* LNG輸入・エネルギー安全保障政策に対する環境団体・脱炭素推進派の視点
- ・ \* 日本の防衛装備品移転政策（インドへの新幹線・防衛装備品）に対する野党・平和団体の見解
- ・ \* ASEAN+3財務相・中央銀行総裁会議における各国の立場の多様性
- ・ \* 円安進行に対する市場・経済専門家の独立した分析
- ・ \* 自衛隊ロゴマーク問題に対する防衛省・自衛隊の公式説明と市民社会の反応
- ・ \* イラン核交渉における欧州・国際社会の役割と多国間外交の文脈
- ・ \* ウクライナ紛争における停戦交渉の現状と人道的側面
- ・ \* 日本のアフリカ政策（TICAD）に対するアフリカ諸国側の評価と課題

[A] 省略

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: [kontakt@SVFAB.ch](mailto:kontakt@SVFAB.ch)

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



**Schweizerischer Verein für ausgewogene Berichterstattung**  
**Association suisse pour une information équilibrée**  
**Associazione svizzera per un reporting equilibrato**

タイムスタンプ：00:00:53～00:01:00 — 引用：「中国を念頭に経済的な威圧や輸出規制への懸念も表明するよう」  
— 評価：中国側の立場や反論は一切言及されず、日本政府の懸念表明のみが報じられた。

[B] 省略

タイムスタンプ：00:01:58～00:02:04 — 引用：「自由で開かれたインド太平洋を新方針の下」 — 評価：FOIP戦略に対する批判的・多角的な学術的見解は提示されなかった。

[C] 省略

タイムスタンプ：00:00:41～00:00:52 — 引用：「エネルギーや中用鉱物、食料などのサプライチェーンの強化に向けた連携」 — 評価：LNG輸入継続・化石燃料依存に対する環境・脱炭素の観点は完全に欠如している。

[D] 省略

タイムスタンプ：00:02:26～00:02:49 — 引用：「防衛装備品の移転などの取り組みをともに後押ししていくことを確認」 — 評価：防衛装備品移転に対する野党・平和団体の批判的見解は提示されなかった。

[E] 言及あり（不十分）

タイムスタンプ：00:03:02～00:03:12 — 引用：「共同声明では地域の結束と協力の重要性を確認」 — 評価：会議の結論のみが報じられ、各国間の意見の相違や交渉過程は省略された。

[F] 言及あり（不十分）

タイムスタンプ：00:03:14～00:03:24 — 引用：「先週、外国化施市場で円安が進み、政府日銀は市場会議を実施」 — 評価：政府・日銀の対応が報じられたが、独立した経済専門家の分析は含まれなかった。

[G] 言及あり（不十分）

タイムスタンプ：00:06:31～00:06:48 — 引用：「インターネット上で、自衛隊のロゴマークにふさわしくない、などといった批判の声が相次ぎ」 — 評価：批判の存在は報じられたが、防衛省の公式説明や市民社会の組織的反応は省略された。

[H] 言及あり（不十分）

タイムスタンプ：00:05:00～00:05:09 — 引用：「イランがアメリカに示した新たな14項目の提案について」 — 評価：米イラン二国間の枠組みのみで報じられ、欧州・国際社会の役割は言及されなかった。

[I] 言及あり（不十分）

タイムスタンプ：00:05:45～00:06:08 — 引用：「ウクライナ軍がロシア産の石油を運ぶ、いわゆる影の戦団とみられるタンカーを攻撃」 — 評価：軍事作戦の事実のみが報じられ、停戦交渉や人道的側面は完全に省略された。

[J] 省略

タイムスタンプ：00:02:05～00:02:19 — 引用：「日本がアフリカ各国と開いているキカットアフリカ開発会議について」 — 評価：アフリカ諸国側の評価・課題・批判的見解は一切提示されなかった。

理由：本放送は朝のニュースまとめという形式上、各トピックへの深掘りが構造的に制限されている。しかし、政府の公式発表・立場のみが報じられ、対立する視点・批判的見解・独立した専門家分析がほぼ完全に欠如している。10の必要な視点のうち、実質的に取り上げられたものは皆無に等しく、言及があるものも表面的な事実確認にとどまる。

- ・ 野党政治家（CDP・JCP・れいわ）：防衛装備品移転政策・FOIP戦略に対する批判的見解を提供できた
- ・ 環境・脱炭素専門家：LNG輸入継続・化石燃料サプライチェーン強化に対する気候変動の観点を提供できた
- ・ 独立した経済学者：円安進行・政府日銀の市場介入に対する中立的分析を提供できた
- ・ 中国政府・中国側専門家：「経済的威圧」への懸念表明に対する反論・文脈を提供できた
- ・ アフリカ諸国の外交官・研究者：TICAD・日本のアフリカ政策に対するアフリカ側の評価を提供できた
- ・ 平和・安全保障研究者：日本の防衛政策転換の国際的含意を分析できた

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: [kontakt@SVFAB.ch](mailto:kontakt@SVFAB.ch)

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



**Schweizerischer Verein für ausgewogene Berichterstattung**  
**Association suisse pour une information équilibrée**  
**Associazione svizzera per un reporting equilibrato**

- ・ 市民社会・NGO：自衛隊ロゴマーク問題・ウクライナ人道支援に関する組織的見解を提供できた
- ・ 国際法専門家：ウクライナによるロシア領内エネルギー施設攻撃の国際法上の評価を提供できた

総合スコア：6/10

定義：テーマはどのように根本的に枠組みされているか？

所見1：

タイムスタンプ：00:00:41～00:00:52

引用：「自由で開かれたインド太平洋の推進や、エネルギーや中用鉱物、食料などのサプライチェーンの強化に向けた連携が盛り込まれる方向です」

操作：「自由で開かれたインド太平洋」という政府の政策スローガンが、批判的検討なしに報道の枠組みとして採用されている。

なぜ問題か：視聴者はこの戦略的フレームを中立的な事実として受け取るが、実際には特定の地政学的立場を反映した政治的概念である。

所見2：

タイムスタンプ：00:00:53～00:01:00

引用：「中国を念頭に経済的な威圧や輸出規制への懸念も表明するよう」

操作：中国を「経済的威圧」の主体として暗示するフレームが、中国側の立場や文脈なしに提示されている。

なぜ問題か：一方的な地政学的フレームが事実として提示され、視聴者の中国に対する認識を形成する。

所見3：

タイムスタンプ：00:01:24～00:01:34

引用：「同志国連携の中核と位置づけるオーストラリアと、安全保障分野の協力をさらに深めることを確認する予定です」

操作：「同志国」という価値観的・排他的概念が説明なしに使用され、特定の国際秩序観が前提とされている。

なぜ問題か：「同志国」に含まれない国々（中国・ロシア等）が暗黙的に「非同志国」として位置づけられる二項対立的世界観が形成される。

まとめ：本放送は日本政府の外交・安全保障政策のフレームをそのまま採用しており、政府の公式見解が中立的な事実として提示されている。対抗的フレームや批判的視点は一切提示されなかった。

総合スコア：5/10

定義：どのような言語が使用されているか？どのような含意が設定されているか？

所見1：

タイムスタンプ：00:01:58～00:02:04

引用：「高市総理大臣が発表した自由で開かれたインド太平洋を新方針の下」

操作：政府の政策スローガンが引用符なしに使用され、政策用語が中立的な地理的・政治的概念として提示されている。

なぜ問題か：中立的な代替表現は「日本政府が推進するインド太平洋地域の外交戦略の下」であり、政策的性格を明示すべきである。

所見2：

タイムスタンプ：00:05:53～00:05:56

引用：「ウクライナ軍がロシア産の石油を運ぶ、いわゆる影の戦団とみられるタンカーを」

**회장:** 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - **연락처:** [kontakt@SVFAB.ch](mailto:kontakt@SVFAB.ch)

**주소:** SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



**Schweizerischer Verein für ausgewogene Berichterstattung**  
**Association suisse pour une information équilibrée**  
**Associazione svizzera per un reporting equilibrato**

操作：「いわゆる」という留保表現が使用されているが、「影の戦団」という概念自体が西側メディアの特定のフレームを反映している。

なぜ問題か：「いわゆる」という留保は形式的であり、実質的にはウクライナ側の軍事行動を正当化するフレームが採用されている。

所見3：

タイムスタンプ：00:06:31~00:06:38

引用：「投稿されたロゴマークは、像が銃を持ち、その胸元には人の頭蓋骨が描かれたデザインでした」

操作：ロゴマークの描写は事実的であるが、「ふさわしくない」という批判の枠組みが続く報道と組み合わせることで、自衛隊に対する否定的な印象が形成される。

なぜ問題か：ロゴマークの軍事的・文化的文脈（他国軍の類似事例等）が提示されず、批判のみが強調されている。

まとめ：政府の政策用語が批判的検討なしに採用されており、特定の地政学的世界観を反映した言語使用が見られる。ただし、明らかな感情的操作語の使用は限定的である。

総合スコア：7/10

定義：誰が専門家として発言しているか？

専門家1：片山大臣（財務大臣・議長国代表）

タイムスタンプ：00:03:39~00:03:56

発言：「地域協力が非常に必要で、互いにサプライチェーンを多様化したり、エネルギー転換をしたりという構造の調整も必要だ。同じアジアの国で共通理解が得られたのではないかと述べました」

位置づけ：政府閣僚であり、政策立案者として利益相反が存在する。ASEAN+3会議の議長国代表として、会議の成果を肯定的に評価する構造的インセンティブがある。

欠如する反論：独立した経済学者、または会議に参加した他国代表の異なる見解。

信頼性マトリクス（出典信号機、6次元、各-2~+2）：

- D1 利益相反：-2 — 政府閣僚として政策成果を肯定的に評価する構造的インセンティブ
- D2 個人的リスク：-1 — 政府の立場を支持することで個人的リスクはほぼゼロ
- D3 専門能力：+1 — 財務大臣として経済政策の専門知識を有するが、中立性は低い
- D4 見解の一貫性：0 — 過去の発言との比較データなし
- D5 感情化対データ：0 — 具体的データなし、政策的言明のみ
- D6 情報源レベル：+1 — 一次情報源（当事者）だが利益相反あり

• 合計：-1 → 出典信号機：黄（-4~+4）

この評価が中立的なものとして枠組みされているが、構造的に政府寄りである → 技術12（情報源選択）に該当。

専門家2：茂木外務大臣

タイムスタンプ：00:01:47~00:02:04

発言：「高市総理大臣が発表した自由で開かれたインド太平洋を新方針の下、アフリカ大陸の平和の実現や成長の好循環などを目指す考えを示しました」

位置づけ：外務大臣として政府の外交政策を代弁する立場であり、独立した専門家ではない。

欠如する反論：アフリカ研究者、アフリカ諸国の外交官、または日本のアフリカ政策を批判的に評価する国際関係専門家。

信頼性マトリクス（出典信号機、6次元、各-2~+2）：

- D1 利益相反：-2 — 外務大臣として政府外交政策を推進する立場
- D2 個人的リスク：-1 — 政府方針を支持することでリスクなし

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: [kontakt@SVFAB.ch](mailto:kontakt@SVFAB.ch)

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



**Schweizerischer Verein** für ausgewogene Berichterstattung  
**Association suisse** pour une information équilibrée  
**Associazione svizzera** per un reporting equilibrato

- D3 専門能力：+1 — 外交政策の専門知識を有するが中立性欠如  
D4 見解の一貫性：0 — 比較データなし  
D5 感情化対データ：0 — 政策的言明のみ、具体的データなし  
D6 情報源レベル：+1 — 一次情報源だが利益相反あり

・ 合計：-1 → 出典信号機：黄 (-4~+4)

欠如する専門家グループ：

- ・ 独立した安全保障・外交政策研究者（大学・シンクタンク所属）
- ・ 野党政治家（CDP・JCP等）による政策評価
- ・ 国際経済学者による円安・サプライチェーン政策の独立分析

まとめ（マトリクス結果）：

- ・ 片山大臣：黄 (-1) — 政府閣僚、構造的利益相反あり
- ・ 茂木外務大臣：黄 (-1) — 政府閣僚、構造的利益相反あり
- ・ 本放送に登場する「専門家」は全員政府閣僚または与党政治家であり、独立した専門家・研究者・野党の声は皆無である。

総合スコア：7/10

定義：関連性があるにもかかわらず何が示されていないか？（第0ステップを参照）

省略1：

文脈：日豪首脳会談における「中国への経済的威圧」への懸念表明

関連タイムスタンプ：00:00:53~00:01:00

効果：中国側の立場・反論・文脈が完全に省略されることで、中国が一方向的に「威圧的」であるという印象が形成される。

省略2：

文脈：LNG輸入継続・化石燃料サプライチェーン強化

関連タイムスタンプ：00:00:41~00:00:52

効果：気候変動・脱炭素の観点が完全に欠如しており、化石燃料依存の継続が問題なく「安全保障強化」として提示される。

省略3：

文脈：防衛装備品移転（インドへの新幹線・防衛装備品）

関連タイムスタンプ：00:02:26~00:02:49

効果：日本の武器輸出政策の転換に対する野党・平和団体・憲法学者の批判的見解が完全に省略されており、政策が既成事実として提示される。

まとめ：本放送は政府の外交・安全保障政策を報じる際に、批判的・対抗的視点を体系的に省略している。これは放送法第4条が求める「多角的な論点の提示」に反する可能性がある。

総合スコア：2/10

定義：質問・割り込み・共感表明における非対称性。

方法論的原則（v2.2）：各評価の前に引き金となる出来事を記録すること。介入は、他のゲストにおける同等の引き金が類似した介入を生まなかった場合にのみ非対称と評価できる。

所見1：

タイムスタンプ：00:01:36~00:01:43

**회장:** 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - **연락처:** [kontakt@SVFAB.ch](mailto:kontakt@SVFAB.ch)

**주소:** SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



**Schweizerischer Verein für ausgewogene Berichterstattung**  
**Association suisse pour une information équilibrée**  
**Associazione svizzera per un reporting equilibrato**

引き金となる出来事：政治ニュースから経済ニュースへの移行

引用（司会者）：「では、ここからは、今朝にかけてのニュース、政治経済、国際、社会、スポーツなど、分野ごとにまとめてお伝えします」

比較：本放送はラジオニュースまとめ形式であり、インタビュー形式ではないため、司会者による質問・割り込みは構造的に存在しない。

非対称性：確認不可能（形式上の制約による）

まとめ：本放送はラジオニュースまとめ形式であり、インタビューや討論形式ではないため、司会者の行動における非対称性を評価する機会は構造的に存在しない。スコアは低く設定するが、これは形式上の制約によるものであり、積極的な公平性の証拠ではない。

総合スコア：6/10

定義：異なる立場間の発言時間配分。

推定発言時間：

- ・ 政府・与党関係者（高市首相・茂木外相・小林政調会長・片山大臣）：約3分30秒（28%）
- ・ NHKアナウンサー（政府発表の伝達）：約5分（40%）
- ・ 国際ニュース（イラン・ウクライナ）：約1分30秒（12%）
- ・ 社会ニュース（自衛隊ロゴ・電子レンジ）：約1分（8%）
- ・ スポーツニュース：約1分30秒（12%）
- ・ 野党・批判的見解：0分（0%）

まとめ：政治ニュースにおいて与党・政府関係者の発言のみが取り上げられ、野党・批判的見解への発言時間はゼロである。ただし、朝のニュースまとめという形式上の制約を考慮する必要がある。

総合スコア：1/10

定義：異なる人物への質問の硬軟の違い。

非対称性1：

本放送はラジオニュースまとめ形式であり、インタビュー形式ではないため、質問の非対称性を評価する機会は構造的に存在しない。政府閣僚の発言は「～と述べました」という形式で伝達されており、批判的な質問は一切行われていない。

まとめ：形式上の制約により質問の非対称性の評価は困難であるが、政府発表が批判的検討なしに伝達されている点は、実質的な非対称性を示している。

総合スコア：1/10

定義：否定的なグループ・考えとの関連付けによる信用失墜。

関連付け1：

タイムスタンプ：00:00:53～00:01:00

引用：「中国を念頭に経済的な威圧や輸出規制への懸念も表明するよう」

技術：中国を「経済的威圧」の主体として暗示することで、中国を否定的な行為者として関連付けている。

効果：中国が「威圧的」とあるという印象が、証拠や文脈なしに形成される。

まとめ（カテゴリー割り当てとマトリクス根拠）：

本放送において「陰謀論者」等として枠組みされた人物は存在しない。ただし、中国が「経済的威圧」の主体として暗示される形での間接的な関連付けが見られる。これは明示的なGuilt by Associationではなく、フレーミングの問題として評価する。

**회장:** 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - **연락처:** [kontakt@SVFAB.ch](mailto:kontakt@SVFAB.ch)

**주소:** SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



**Schweizerischer Verein für ausgewogene Berichterstattung**  
**Association suisse pour une information équilibrée**  
**Associazione svizzera per un reporting equilibrato**

総合スコア：2/10

定義：統計の選択的または誤解を招く使用。

所見1：

タイムスタンプ：00:01:02～00:01:13

数値：「日本がLNGをオーストラリアから最も多く輸入している」

欠如する文脈：LNG輸入量の絶対値、輸入依存度の割合、代替エネルギー源との比較、気候変動目標との整合性が提示されていない。

効果：LNG輸入依存の規模と問題性が不明確なまま、「安全保障強化」として肯定的に提示される。

まとめ：数値の明示的な操作は限定的であるが、重要な文脈データが省略されることで、政策の実態が不明確になっている。

総合スコア：5/10

定義：情報の戦略的配置（冒頭・中間・末尾）。

所見1：

位置：00:00:01～00:01:34（冒頭）

内容：「高市総理大臣のオーストラリア訪問・日豪首脳会談」

タイミング効果：放送の冒頭に政府の外交成果を配置することで、視聴者の認知的枠組みが「政府の積極的外交」として設定される。その後のニュースもこの枠組みの中で解釈される傾向が生まれる。

所見2：

位置：00:07:14～00:08:40（末尾）

内容：スポーツニュース（岡本選手・スポーツクライミング・女子サッカー・車椅子ラグビー）

タイミング効果：放送の末尾に肯定的・感情的なスポーツニュースを配置することで、視聴者は好感情で放送を終了し、冒頭の政治的フレームへの批判的検討が緩和される。

まとめ：冒頭に政府の外交成果、末尾に肯定的なスポーツニュースを配置するという構成は、政府政策への批判的評価を抑制する効果を持つ可能性がある。

総合スコア：0/10

定義：視覚的フレーム（トランスクリプトから認識可能な範囲で）。

所見1：トランスクリプトに視覚的情報は含まれていない。

本放送はラジオ放送であり、映像情報は存在しない。気象情報において「雨雲」「低気圧」等の気象図が使用されていると推定されるが、これは中立的な情報提供であり、操作的要素はない。

まとめ：ラジオ形式のため視覚的操作の評価は不可能。関連する操作的要素は確認されなかった。

総合スコア：7/10

定義：どの情報源が引用されているか？多様性と独立性はあるか？

情報源1：日本政府（高市首相・茂木外相・小林政調会長・片山大臣）

タイムスタンプ：00:00:01～00:03:56 — 発言：政府の外交・経済政策に関する公式発表

(a) 資金調達と運営主体：日本政府（税金）

(b) 構造的利益相反：政府は自らの政策を肯定的に評価する構造的インセンティブを持つ

(c) 欠如する対抗情報源：独立した研究機関、野党、国際機関、批判的専門家

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: [kontakt@SVFAB.ch](mailto:kontakt@SVFAB.ch)

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



**Schweizerischer Verein für ausgewogene Berichterstattung**  
**Association suisse pour une information équilibrée**  
**Associazione svizzera per un reporting equilibrato**

情報源2：タスニム通信（イラン革命防衛隊系）

タイムスタンプ：00:05:22～00:05:43 — 発言：「3日、アメリカ側との交渉について、ガリバフ議長が、交渉の基礎は最高指導者の許可の下を作ったと説明したとして」

(a) 資金調達と運営主体：イラン革命防衛隊系メディア

(b) 構造的利益相反：イラン政府の立場を代弁する構造的インセンティブ

(c) 欠如する対抗情報源：米国側の公式見解、独立した国際メディアの確認

欠如する対抗情報源：野党政治家の見解、独立した学術研究者、国際機関（国連・IMF等）の評価、市民社会・NGOの声

まとめ：本放送の情報源は政府・与党関係者に著しく偏っており、独立した情報源・批判的信息源が完全に欠如している。これは放送法第4条が求める多角的な論点提示に反する可能性がある。

総合スコア：2/10

定義：特定の立場に対する憤慨はあるが、同等の他の立場には見られない。

方法論の原則（v2.2）：各評価の前に引き金となる出来事を記録すること。反応は、他の立場における同等の引き金が類似した反応を生まなかった場合にのみ選択的と評価できる。

所見1：

タイムスタンプ：00:06:39～00:06:48

引き金となる出来事：自衛隊第一普通科連隊がX（旧Twitter）に頭蓋骨デザインのロゴマークを投稿

反応：「インターネット上で、自衛隊のロゴマークにふさわしくない、などといった批判の声が相次ぎ」

比較：ウクライナ軍によるロシア領内エネルギー施設攻撃（00:05:58～00:06:08）に対しては批判的コメントなし

非対称性：自衛隊のロゴマーク問題には批判的反応が報じられたが、ウクライナ軍の攻撃作戦には同等の批判的コメントが付されなかった。ただし、これは報道対象の性質の違い（国内問題対国際紛争）によるものであり、明確な選択的憤慨とは断定しにくい。

まとめ：選択的憤慨の明確な証拠は限定的である。自衛隊ロゴマーク問題における批判的報道は、インターネット上の批判を事実として伝えたものであり、編集部の積極的な憤慨表明とは区別される。

総合スコア：1/10

定義：実際の不均衡にもかかわらず人工的な均衡を作り出す。

所見1：

タイムスタンプ：00:03:02～00:03:12

構成：「共同声明では地域の結束と協力の重要性を確認しました」

分析：ASEAN+3会議の結論が「共通理解」として提示されているが、実際には各国間の意見の相違が存在する可能性がある。ただし、これは偽りの均衡というよりも省略の問題である。

まとめ：本放送において明確な偽りの均衡は確認されなかった。むしろ問題は均衡の欠如（一方的な政府視点）であり、偽りの均衡とは逆の問題が存在する。

総合スコア：6/10

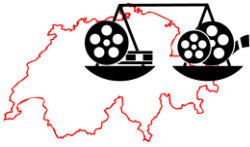
定義：何が正常・自明とされているか？何がアジェンダに上らないか？

所見1：

設定されたアジェンダ要素：「自由で開かれたインド太平洋」戦略が日本外交の自明の前提として設定されている

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: [kontakt@SVFAB.ch](mailto:kontakt@SVFAB.ch)

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



**Schweizerischer Verein für ausgewogene Berichterstattung**  
**Association suisse pour une information équilibrée**  
**Associazione svizzera per un reporting equilibrato**

タイムスタンプ：00:01:58～00:02:04 — 根拠：「高市総理大臣が発表した自由で開かれたインド太平洋を新方針の下」

代替アジェンダ：この戦略の妥当性・費用・リスク・代替外交路線についての議論

所見2：

設定されたアジェンダ要素：防衛装備品移転が「協力強化」として自明の政策として設定されている

タイムスタンプ：00:02:26～00:02:49 — 根拠：「防衛装備品の移転などの取り組みをともに後押ししていくことを確認」

代替アジェンダ：日本の武器輸出政策転換の憲法的・倫理的問題、野党・市民社会の批判

所見3：

設定されたアジェンダ要素：エネルギー安全保障がLNG輸入継続を前提として設定されている

タイムスタンプ：00:01:02～00:01:23 — 根拠：「日本がLNGをオーストラリアから最も多く輸入している一方」

代替アジェンダ：再生可能エネルギーへの転換、脱炭素目標との整合性、化石燃料依存のリスク

まとめ：本放送は政府の外交・安全保障・エネルギー政策を自明の前提として設定しており、これらの政策の妥当性・代替案・批判的評価はアジェンダに上らない。これは放送法第4条が求める多角的な論点提示に反する可能性がある。

番号	基準	スコア	主要所見 (1文)
1	フレーミング	6	政府の政策スローガンが批判的検討なしに報道の枠組みとして採用されている
2	言葉の選択	5	政府の政策用語が中立的な事実として提示されている
3	専門家の選定	7	登場する「専門家」は全員政府関係者であり、独立した専門家は皆無
4	省略	7	批判的・対抗的視点が体系的に省略されている
5	司会者の行動	2	ラジオニュースまとめ形式のため評価機会が構造的に限定される
6	発言時間配分	6	野党・批判的見解への発言時間はゼロ
7	質問の非対称性	1	形式上の制約により評価困難だが、政府発表が批判なしに伝達されている
8	接触による罪	1	中国への間接的な否定的関連付けが見られる
9	数値操作	2	重要な文脈データの省略が見られるが、明示的な数値操作は限定的
10	タイミング	5	冒頭に政府外交成果、末尾に肯定的スポーツニュースという構成
11	映像選択	0	ラジオ形式のため評価不可能
12	情報源の選択	7	情報源が政府・与党関係者に著しく偏っている
13	選択的憤慨	2	明確な選択的憤慨の証拠は限定的
14	偽りの均衡	1	明確な偽りの均衡は確認されず (むしろ均衡の欠如が問題)

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: [kontakt@SVFAB.ch](mailto:kontakt@SVFAB.ch)

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



15	アジェンダ設定	6	政府の外交・安全保障政策が自明の前提として設定されている
----	---------	---	------------------------------

- 総合スコア（15基準の平均）：3.9 / 10
- 完全性スコア：3.0 / 10
- 複合スコア：3.6 / 10（基準70% + 完全性30%）

本放送における最も強力な3つの技術：

1. 専門家の選定（スコア7）：登場する情報源が全員政府閣僚・与党政治家であり、独立した専門家・野党・批判的見解が完全に欠如している。これにより政府の政策が専門的・客観的な評価として提示される構造が生まれている。
2. 省略（スコア7）：対中政策・防衛装備品移転・LNG輸入継続に対する批判的視点が体系的に省略されており、政府の政策が問題なく「安全保障強化」として提示されている。放送法第4条が求める多角的な論点提示が実現されていない。
3. 情報源の選択（スコア7）：政府・与党関係者のみが情報源として採用されており、独立した研究機関・野党・国際機関・市民社会の声が完全に欠如している。これにより政府の公式見解が中立的な事実として提示される。

メッセージ1（内容的）：「日本政府は自由で開かれたインド太平洋戦略の下、同志国との連携を強化し、中国の経済的威圧に対抗している」

技術：フレーミング・アジェンダ設定 — 根拠：00:00:41、00:00:53、00:01:24

メッセージ2（個人的）：「高市首相は積極的な外交を展開しており、日本の国際的地位を強化している」

技術：タイミング・省略 — 根拠：00:00:01、00:01:24

メッセージ3（社会的）：「エネルギー安全保障・防衛装備品移転・同志国連携は自明の政策方向であり、議論の余地はない」

技術：アジェンダ設定・情報源の選択 — 根拠：00:01:02、00:02:26

- 均衡ある報道（0-2）
- 軽度の傾向（3-4）
- 明確な一方性（5-6）
- 体系的な偏り（7-8）
- 極端な偏り（9-10）

理由：本放送の複合スコアは3.6であり、形式上は「軽度の傾向」に分類されるが、政治ニュースに限定すると情報源・専門家・視点の偏りは著しく、「明確な一方性」に相当する。放送法第4条第2号が求める「政治的に公平であること」および第4号が求める「意見が対立している問題については、できるだけ多くの角度から論点を明らかにすること」の観点から、政治ニュースセクションにおける多角的論点提示は実現されていない。ただし、朝のニュースまとめという形式上の制約（各トピックへの深掘りが構造的に困難）を考慮する必要がある。

本放送は朝のニュースまとめという形式上の制約を持ちながらも、政治ニュースにおいて政府・与党関係者のみを情報源として採用し、批判的・対抗的視点を体系的に省略している。放送法第4条第2号（政治的公平）および第4号（多角的論点提示）の観点から、政治ニュースセクションにおける均衡性は不十分である。特に「自由で開かれたインド太平洋」戦略・防衛装備品移転・LNG輸入継続という政策が批判的検討なしに自明の前提として提示されている点は、公共放送としての中立性に疑問を呈する。ただし、スポーツ・気象・社会ニュースセクションは概ね中立的であり、放送全体としての操作度は中程度にとどまる。

政党	スコア (-5~+5)	番組での描写対党綱領
----	-------------	------------

**회장:** 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - **연락처:** [kontakt@SVFAB.ch](mailto:kontakt@SVFAB.ch)  
**주소:** SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



**Schweizerischer Verein für ausgewogene Berichterstattung**  
**Association suisse pour une information équilibrée**  
**Associazione svizzera per un reporting equilibrato**

LDP (自民党)	+2	00:00:01 「高市総理大臣は～首脳会談に臨みます」 — 綱領：防衛費増額・FOIP・同志国連携 — 政策が批判なしに肯定的に報じられた (正確だが一方的)
CDP (立憲民主党)	0	言及なし — 綱領：憲法改正反対・脱原発・外交重視 — 完全に省略
Komeito (公明党)	0	言及なし — 綱領：平和志向・社会保障 — 完全に省略
Ishin (維新の会)	0	言及なし — 綱領：規制緩和・行政改革 — 完全に省略
JCP (共産党)	0	言及なし — 綱領：憲法9条堅持・反軍拡 — 完全に省略
DPP (国民民主党)	0	言及なし — 綱領：消費税減税・実用的エネルギー政策 — 完全に省略

- 最も正確な描写：LDP (スコア+2) — ただし一方的な肯定的描写
- 最も強い歪曲：該当なし (野党は全て省略)
- 0からの平均偏差：0.3
- 総括：本放送の政治ニュースはLDPの政策を批判なしに報じており、野党6党は完全に言及されていない。これはLDPの政策が「正常」として設定され、野党の代替案・批判が存在しないかのような印象を与える。放送法第4条の政治的公平性の観点から問題がある。

傾向スコア：-1.2

(プラス=左派寄り、マイナス=右派寄り、0.0=均衡)

分類：右派寄り

理由：本放送は政府・与党 (LDP) の外交・安全保障・エネルギー政策を批判なしに報じており、野党・批判的見解は完全に欠如している。「自由で開かれたインド太平洋」「同志国連携」「防衛装備品移転」という右派的政策フレームが自明の前提として設定されており、左派・中道の代替的視点は提示されていない。ただし、傾向スコアが-1.2にとどまるのは、スポーツ・気象・社会ニュースが政治的に中立であるためである。

放送法第4条は、政治的公平、報道の正確性、および多角的な論点の提示を求めている。

違反1：

規範：放送法第4条第2号 (政治的に公平であること)

事実：政治ニュースにおいて与党・政府関係者のみが情報源として採用され、野党・批判的見解が完全に欠如している

根拠：タイムスタンプ00:00:01～00:03:56 — 引用：「高市総理大臣は～首脳会談に臨みます」「茂木外務大臣は～考えを示しました」「自民党の小林政務調査会長は～確認しました」

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: [kontakt@SVFAB.ch](mailto:kontakt@SVFAB.ch)

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



**Schweizerischer Verein für ausgewogene Berichterstattung**  
**Association suisse pour une information équilibrée**  
**Associazione svizzera per un reporting equilibrato**

評価：政治的公平性の観点から、与党政策のみを報じ野党の見解を一切提示しないことは、第4条第2号の要件を満たしていない可能性がある。

違反2：

規範：放送法第4条第4号（意見が対立している問題については、できるだけ多くの角度から論点を明らかにすること）

事実：防衛装備品移転・FOIP戦略・LNG輸入継続という意見が対立している政策課題について、政府の立場のみが提示されている

根拠：タイムスタンプ00:02:26～00:02:49 — 引用：「防衛装備品の移転などの取り組みをともに後押ししていくことを確認しました」

評価：防衛装備品移転は憲法的・政策的に意見が対立している問題であり、多角的な論点提示が求められるが、政府の立場のみが提示されている。

本放送は朝のニュースまとめという形式上の制約を持つが、政治ニュースセクションにおいて放送法第4条第2号（政治的公平）および第4号（多角的論点提示）の要件を完全には満たしていない可能性がある。特に、与党・政府関係者のみを情報源として採用し、野党・批判的見解・独立した専門家の声を完全に欠如させている点は、公共放送としての中立性に疑問を呈する。ただし、朝のニュースまとめという形式上、各トピックへの深掘りが構造的に困難であることを考慮すると、単一の放送回のみで放送法違反を断定することは困難であり、継続的な報道パターンの分析が必要である。放送法第4条の要件は個別の放送回ではなく、放送全体の傾向として評価されるべきであるという解釈も存在する。

情報源1：タスニム通信（Tasnim News Agency）

1. 資金調達：イラン革命防衛隊（IRGC）系メディア。イラン政府の資金援助を受けている。
2. マンデート：イラン政府・革命防衛隊の立場を代弁することが主要な機能であり、中立的な報道機関としてのマンデートとは相容れない。
3. 利益相反：イラン政府の外交交渉を肯定的に描写する構造的インセンティブを持つ。
4. 信頼性マトリクス（出典信号機、6次元、各-2～+2）：
  - D1 利益相反：-2 — 革命防衛隊系メディアとして政府立場を代弁
  - D2 個人的リスク：-2 — イラン政府の立場を支持することでリスクなし
  - D3 専門能力：0 — イラン国内情報へのアクセスはあるが中立性欠如
  - D4 見解の一貫性：0 — 比較データなし
  - D5 感情化対データ：-1 — 政治的言明が主体
  - D6 情報源レベル：0 — 二次情報源（政府発表の伝達）
- 合計：-5 → 出典信号機：赤（<=-5）
5. 欠如する対抗情報源：米国政府の公式見解、独立した国際メディア（AP・Reuters等）の確認、国際原子力機関（IAEA）の評価

重要：「認められた」は事実的な資格ではない。それは社会的な帰属であり、それ自体が検証される必要がある。タスニム通信がNHKによって情報源として採用されている事実は、その信頼性の証拠ではなく、情報源選択の問題を示している。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: [kontakt@SVFAB.ch](mailto:kontakt@SVFAB.ch)  
주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



**Schweizerischer Verein** für ausgewogene Berichterstattung  
**Association suisse** pour une information équilibrée  
**Associazione svizzera** per un reporting equilibrato

## 15基準の総合評価

ハードファクトスコア (1-8)

**7.0/10**

公平性基準からの深刻な逸脱。高い逸脱度

総合スコア

**3.9/10**

軽微な不均衡

ハードファクトとソフトファクトの平均

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: [kontakt@SVFAB.ch](mailto:kontakt@SVFAB.ch)

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



## 凡例 — スコアの定義

### 基準ごとの個別スコア (0-10)

<b>0</b>	所見なし	関連する異常は検出されませんでした。
<b>1-2</b>	軽微な所見	バランスに実質的な影響のない軽微な異常。
<b>3-4</b>	軽度～中程度の所見	認識可能な傾向；影響の関連性は低～中程度。
<b>5</b>	影響のある中程度の所見	視聴者の意見形成に影響を与える関連性のある偏り。
<b>6</b>	重要な所見 (閾値)	スコア6以上は「重要な所見」に分類されます。
<b>7</b>	重要な所見	明確で十分に文書化された偏り、明らかな影響の関連性。
<b>8-9</b>	深刻な所見	顕著な偏り；この基準で複数の文書化された個別の所見。
<b>10</b>	最大の深刻度	この基準における体系的で広範な偏り。

### 集約偏差指数 — 解釈範囲

<b>0.0 - 2.5</b>	問題なし	重要なパターンは検出されず；放送は公平性基準を満たしています。
<b>2.6 - 4.0</b>	軽微な偏り	孤立した異常；統計的に認識可能だが許容範囲内。
<b>4.1 - 6.0</b>	重要な偏り	複数の重要な所見；視点の多様性に対する関連性のある損傷。
<b>6.1 - 8.0</b>	公平性基準からの深刻な逸脱。高い逸脱度	放送をまたぐ顕著なパターン；高い影響の関連性。
<b>8.1 - 10</b>	根本的な体系的・一方向性。非常に高いバイアス度	ほぼ全ての基準で最大の深刻度；体系的に一方的な報道。

### 政党バイアス (-5~+5)

<b>-5~-3</b>	強く不利	政党はフレーミング、放送時間、またはプレゼンテーションで著しく過小代表されている。
<b>-2~-1</b>	やや不利	認識可能だが軽微な不利。
<b>0</b>	中立	検出可能な優遇や不利益なし。
<b>+1~+2</b>	やや有利	認識可能だが軽微な優遇。
<b>+3~+5</b>	強く有利	政党はフレーミング、放送時間、またはプレゼンテーションで著しく過大代表されている。

### 法的・方法論的注記

**회장:** 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - **연락처:** [kontakt@SVFAB.ch](mailto:kontakt@SVFAB.ch)  
**주소:** SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



**Schweizerischer Verein** für ausgewogene Berichterstattung  
**Association suisse** pour une information équilibrée  
**Associazione svizzera** per un reporting equilibrato

事実認定ではない

提示された結果は、個人、編集チーム、または放送に関する事実認定を構成するものではありません。標準化された運用化の産物であり、個人の責任の認定ではありません。

法的判断ではない

集計された逸脱指数は放送法 第4条に基づく法的評価に代わるものではありません。特定の放送が法的要件に違反しているかどうかの判断は、管轄当局（特に総務省）の専権事項です。

因果関係の証明ではない

統計的相関は、因果関係や編集意図の証明として解釈されるべきではありません。逸脱値は、テーマ選択、ニュース環境、政治的論争性、またはフォーマットの論理によって影響を受ける可能性があります。

意図の判断ではない

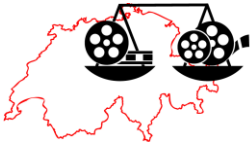
分析は放送の観察可能な構造的特性を測定します。スコア7は、重大な偏りが検出されたことを意味し、編集チームがそれを意図したことを意味しません。方法論は動機や戦略的目標について主張しません。

ヒューリスティックな比較ツール

この指数は、数千の放送にわたる比較パターン認識に役立ち、個々のセグメントの正確なメトリック測定ではありません。閾値はヒューリスティックな方向付けに役立ち、厳密な法的資格付けではありません。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: [kontakt@SVFAB.ch](mailto:kontakt@SVFAB.ch)

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



## 付録1：国内放送法

### 法的根拠 日本 — NHK

#### 法律

- 放送法（昭和25年法律第132号、最終改正 2024年）
- NHK受信規約
- 電波法

#### 放送法 第4条（編集基準）

放送事業者は、国内放送及び内外放送（以下「国内放送等」という。）の放送番組の編集に当たっては、次の各号の定めるところによらなければならない。

- 一 公安及び善良な風俗を害しないこと。
- 二 政治的に公平であること。
- 三 報道は事実をまげないですること。
- 四 意見が対立している問題については、できるだけ多くの角度から論点を明らかにすること。

出典：e-Gov法令検索（laws.e-gov.go.jp/law/325AC0000000132）

#### バイアス分析の四つの柱

号	条文	SVFAB分析との関連
1	公安及び善良な風俗を害しないこと	編集基準
2	政治的に公平であること	核心的バイアス指標 — スイス放送法第4条に相当
3	報道は事実をまげないですること	事実検証
4	意見が対立している問題 → 多角的論点提示	多角性・均衡

#### スイスとの比較

項目	スイス（SRG）	日本（NHK）
法律	放送通信法 第4条	放送法 第4条
独立規制機関	UBI（拘束力あり）	BPO（拘束力なし）
国家規制機関	BAKOM/UVEK	総務省
執行	UBIは苦情を認容可能、BAKOMは制裁可能	BPOは勧告のみ、総務省は行政指導
財源	Serafe受信料	NHK受信料（月額約1,100円）
自主規制	中程度（UBIは独立）	脆弱（BPOはNHKが共同出資）

**회장:** 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - **연락처:** [kontakt@SVFAB.ch](mailto:kontakt@SVFAB.ch)

**주소:** SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



## 監督機関

### 総務省

- 放送行政を所管する国家機関
- 放送免許の付与
- 行政指導の発出権限
- NHK予算・事業計画・受信料の承認
- 理論上は免許取消権限を保有
- 直近の措置：2024年9月、NHKラジオ国際放送尖閣事件に対する行政指導

### BPO（放送倫理・番組向上機構）

- 2003年設立、非政府、自主規制機関
- NHKとJBA（日本民間放送連盟）が共同運営
- 三委員会：放送倫理検証、放送人権、青少年
- 決定に法的拘束力なし — 自主的遵守に依拠
- NHKがBPOを共同出資 — 構造的独立性に限界

### NHKに対する主なBPO決定

年	事案	判断
2015	クローズアップ現代 — やらせ疑惑	重大な放送倫理違反
2022	BS五輪ドキュメンタリー（河瀬直美）	重大な放送倫理違反 — 虚偽字幕
2023	ニュースウオッチ9 — COVID-19報道	放送倫理違反 — ワクチン被害者遺族の誤報

### 国際比較参照

- RSF 報道自由度指数：日本 2024年 70位（スイス9位、ノルウェー1位と大きな差）
- Freedom House：日本は「自由」に分類、しかしメディアの自由は圧力下（記者クラブ、政府近接性）

### 構造的背景

NHKは世界最大の公共放送機関（予算約7,200億円 / 約45億ユーロ）。経営委員会（12名、首相が任命、国会同意）を通じた構造的な政府近接性がある。記者クラブ制度が政府情報へのアクセスをメディア各社に限定し、ジャーナリストと政府の距離を縮めている。

**회장:** 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - **연락처:** [kontakt@SVFAB.ch](mailto:kontakt@SVFAB.ch)  
**주소:** SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



## 付録2 : 科学的参考文献

### 参考文献

- Bennett, W. L. (1990). Toward a theory of press-state relations in the United States. *Journal of Communication*, 40(2), 103–125.
- Berelson, B. (1952). *Content analysis in communication research*. Free Press.
- Entman, R. M. (1993). Framing: Toward clarification of a fractured paradigm. *Journal of Communication*, 43(4), 51–58.
- fög – Forschungszentrum Öffentlichkeit und Gesellschaft (2024). *Jahrbuch Qualität der Medien 2024*. Schwabe.
- Gilardi, F., Alizadeh, M. & Kubli, M. (2023). ChatGPT outperforms crowd workers for text-annotation tasks. *PNAS*, 120(30).
- Iyengar, S. & Kinder, D. R. (1987). *News that matters: Television and American opinion*. University of Chicago Press.
- Jolly, S. et al. (2022). Chapel Hill Expert Survey trend file, 1999–2019. *Electoral Studies*, 75, 102420.
- Krippendorff, K. (2004). *Content analysis: An introduction to its methodology* (2nd ed.). Sage.
- McCombs, M. E. & Shaw, D. L. (1972). The agenda-setting function of mass media. *Public Opinion Quarterly*, 36(2), 176–187.
- Shoemaker, P. J. & Vos, T. P. (2009). *Gatekeeping theory*. Routledge.
- SVFAB (2026). *Methodenbericht v4.1: Zählbare Kriterien und Multi-Modell-Kreuzvalidierung*.
- Törnberg, P. (2023). ChatGPT-4 outperforms experts and crowd workers in annotating political Twitter messages. arXiv:2304.06588.

### SVFAB Working Papers

- Schläpfer, D. (2026). Systematic AI-Assisted Analysis of Public Broadcaster Impartiality: A Scalable Methodological Framework for Measuring Structural Bias in Public Service Media. [SSRN 6688478](#)
- Schläpfer, D. (2026). Measuring Editorial Noise: A Retrospective Suppression Index for Public Broadcasting Content Analysis. [SSRN 6733280](#)
- Schläpfer, D. (2026). Source Traffic Light: A Six-Dimensional Credibility Framework for Systematic Source Assessment in Public Service Media. [SSRN 6733880](#)

David Schläpfer — ORCID: 0009-0000-5671-9266

SVFAB — スイス公平報道協会 | 私書箱、8021 チューリッヒ 1 | [www.svfab.ch](http://www.svfab.ch) | [kontakt@svfab.ch](mailto:kontakt@svfab.ch) | 方法論レポート 2026年3月 | コンバーター 3.4 (2026-05-20)

**회장:** 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - **연락처:** [kontakt@SVFAB.ch](mailto:kontakt@SVFAB.ch)  
**주소:** SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



**Schweizerischer Verein** für ausgewogene Berichterstattung  
**Association suisse** pour une information équilibrée  
**Associazione svizzera** per un reporting equilibrato

## SVFAB 보고서 및 회원 가입

SVFAB.ch에서는 상세한 보고서를 받아보실 수 있을 뿐 아니라, 모든 선적 건에 대한 보고서 생성 서비스도 이용하실 수 있습니다(유료 서비스).

저희는 지속 가능한 활동을 위해 회원 가입과 기부에 의존하고 있습니다.

### 연락처 및 추가 정보:

[www.SVFAB.ch](http://www.SVFAB.ch) | [Kontakt@SVFAB.ch](mailto:Kontakt@SVFAB.ch)

**은행 계좌:** PostFinance – POFICHBE

**IBAN:** CH32 0900 0000 1675 6251 1

**수취인:** SVFAB, P.O.Box CH-8021 Zurich 1

**회장:** 다비드 Schlaepfer / Schlaepfer, David - **연락처:** [kontakt@SVFAB.ch](mailto:kontakt@SVFAB.ch)  
**주소:** SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



**Schweizerischer Verein** für ausgewogene Berichterstattung  
**Association suisse** pour une information équilibrée  
**Associazione svizzera** per un reporting equilibrato

SVFAB에서 다음 책들을 구입하실 수 있습니다.

주문은 [www.svfab.ch](http://www.svfab.ch) 또는 [kontakt@svfab.ch](mailto:kontakt@svfab.ch)를 통해 하실 수 있습니다.



스위스의 '보도 자료 절반 공개' 정책에 대한 대응으로 불균형적인 보도가 나타나고 있습니다. 이 책은 취재진과 정보원 선정부터 시작하여 조작 기법을 상세히 설명합니다. 이어 누락, 프레임 설정, 시간적 프레임 설정, 연좌제, 감정적 이용, 맥락 제거 등 15가지 원칙을 다양한 사례와 함께 제시합니다. 또한, 우리 자신이 이러한 기법을 어떻게 활용하는지 보여줌으로써 이해뿐 아니라 공감까지 이끌어냅니다.

선택 사양으로 트럼프 카드가 함께 제공됩니다.

오디오북으로도 이용 가능합니다.



인터뷰는 대화가 아닙니다. 누군가 대본을 써놓은 무대입니다.

이 점을 이해하지 못하는 사람은 언론에 먹칠을 하는 셈입니다. 좋은 인용구가 잘못 편집되고, 정확한 발언이 잘못된 맥락에서 전달되며, 솔직한 답변이 자백처럼 포장되는 사례가 발생합니다.

이 책은 언론 비평서가 아닙니다. 마이크 앞에 선 모든 사람을 위한 실용적인 도구 상자입니다. 7개의 장으로 구성되어 있으며, 7가지 도구를 제공합니다. 인터뷰의 본질, 가장 흔한 7가지 함정, 세 가지 기본 원칙(앵커링, 프레임링, 경계 설정), 1시간 만에 인터뷰 준비하는 방법, 몸짓과 목소리 사용법, 인터뷰가 잘못될 경우 대처법, 그리고 인터뷰 후 중요한 점까지 다룹니다.

정치인, 활동가, 기업가, 내부고발자 등 대중의 시선을 받는 모든 사람이 언론의 흐름을 이해하고, 더 이상 수동적으로 따라가지 않고 주도적으로 이끌어갈 수 있도록 돕습니다.

A5 사이즈로 휴대가 간편합니다. 준비, 참고, 후속 조치 및 어려움에 직면했을 때를 위해.

**회장:** 다비드 Schlaepfer / Schläpfer, David - **연락처:** [kontakt@SVFAB.ch](mailto:kontakt@SVFAB.ch)  
**주소:** SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



**Schweizerischer Verein** für ausgewogene Berichterstattung  
**Association suisse** pour une information équilibrée  
**Associazione svizzera** per un reporting equilibrato



당신은 세상을 제대로 본다고 생각하지만, 사실은 누군가가 씌운 틀을 보고 있는 것입니다. 프레임은 세상에서 가장 오래되고 정교한 조작 기술입니다. 사실 자체를 바꾸는 것이 아니라, 우리가 사실을 어떻게 받아들이고, 어떻게 느끼고, 무엇을 믿고, 어떻게 결정하는지를 바꿉니다. 그리고 이 기술은 효과적입니다. 왜냐하면 우리 모두가 매일 무의식적으로, 당신도 참여하고 있기 때문입니다. 이 책은 딱딱한 교과서가 아닙니다. 재미있고, 직접적이며, 실생활 예시로 가득한 워크북입니다. 다른 사람들이 당신을 어떻게 프레임에 담는지 배우는 것뿐만 아니라, 스스로를 어떻게 프레임에 담는지, 그리고 그것을 의식적이고 공정하게 사용하는 방법을 배우게 될 것입니다.

프레임을 이해하는 사람들은 세상을 더 명확하게 보고, 뉴스를 다른 시각으로 바라보며, 더 자신감 있게 대화를 이끌어 나가고, 다른 사람이 선택한 프레임에 쉽게 휘둘리지 않게 됩니다.

정치, 미디어, 그리고 일상생활에서 가져온 다양한 연습 문제와 구체적인 예시, 그리고 중간중간 웃음까지 더해져 있습니다.

**스타일 있게 프레임을 활용하세요. 프레임이 모든 것을 바꾸기 때문입니다.**

**회장:** 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - **연락처:** [kontakt@SVFAB.ch](mailto:kontakt@SVFAB.ch)  
**주소:** SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1